

CASBEE[®]-戸建(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル:

CASBEE-戸建(新築) 2014年版

■使用評価ソフト: CASBEE-DH_NC_2014v1.0

1-1 建物概要

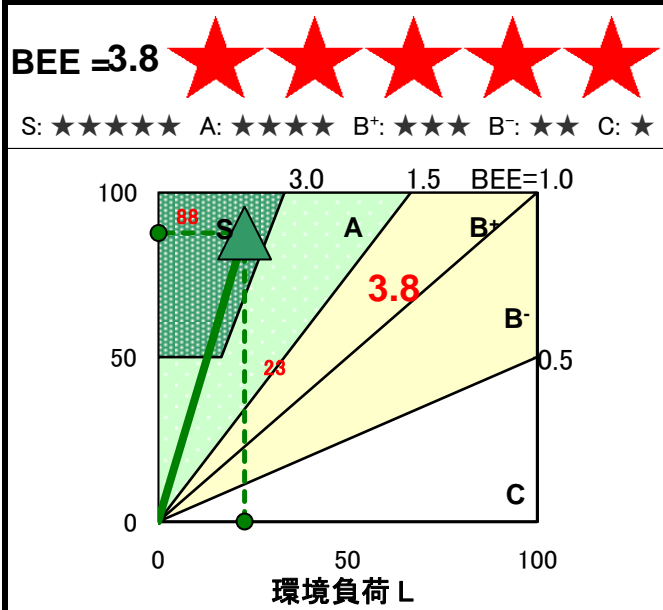
建物名称	F-5号地(WE161)	
竣工年月	2015年6月	予定
建設地	兵庫県芦屋市	
用途地域	第1種低層住宅専用	確定
省エネルギー地域区分	6地域	
構造・構法	鉄骨軸組構法	確定
階数	2	
敷地面積	209 m ²	確定
建築面積	82 m ²	確定
延床面積	135 m ²	
世帯人数	(4人)	仮

仕様等の確定状況	建物の仕様 持ち込み家電等 外構の仕様	確定 確定 確定
<備考>		
評価の実施日	2014年7月1日	
作成者	山田 欽也	
確認日	2014年7月7日	
確認者	上村 英之	

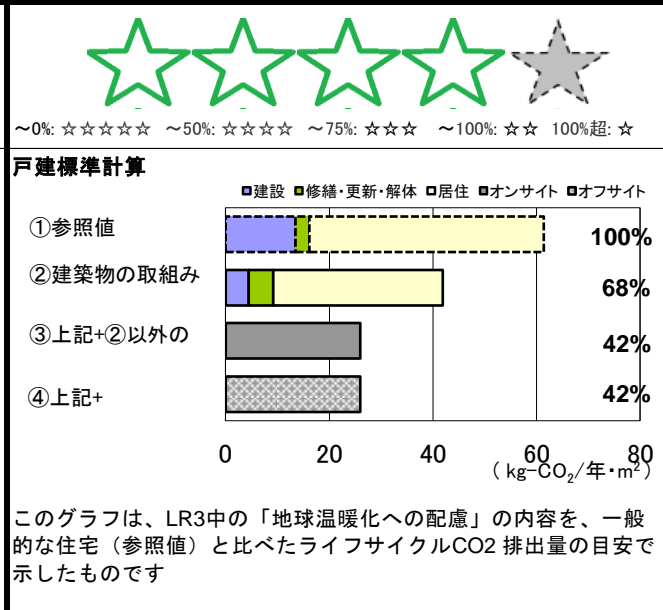
1-2 外観



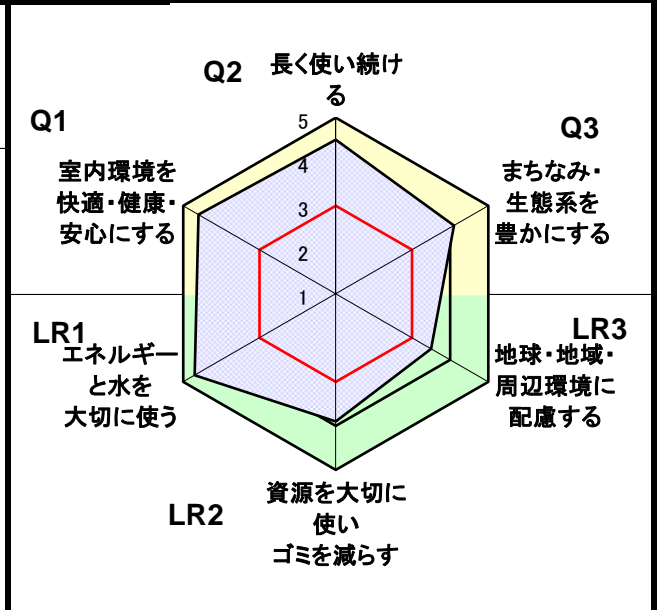
2-1 戸建の環境効率(BEEランク&チャート)



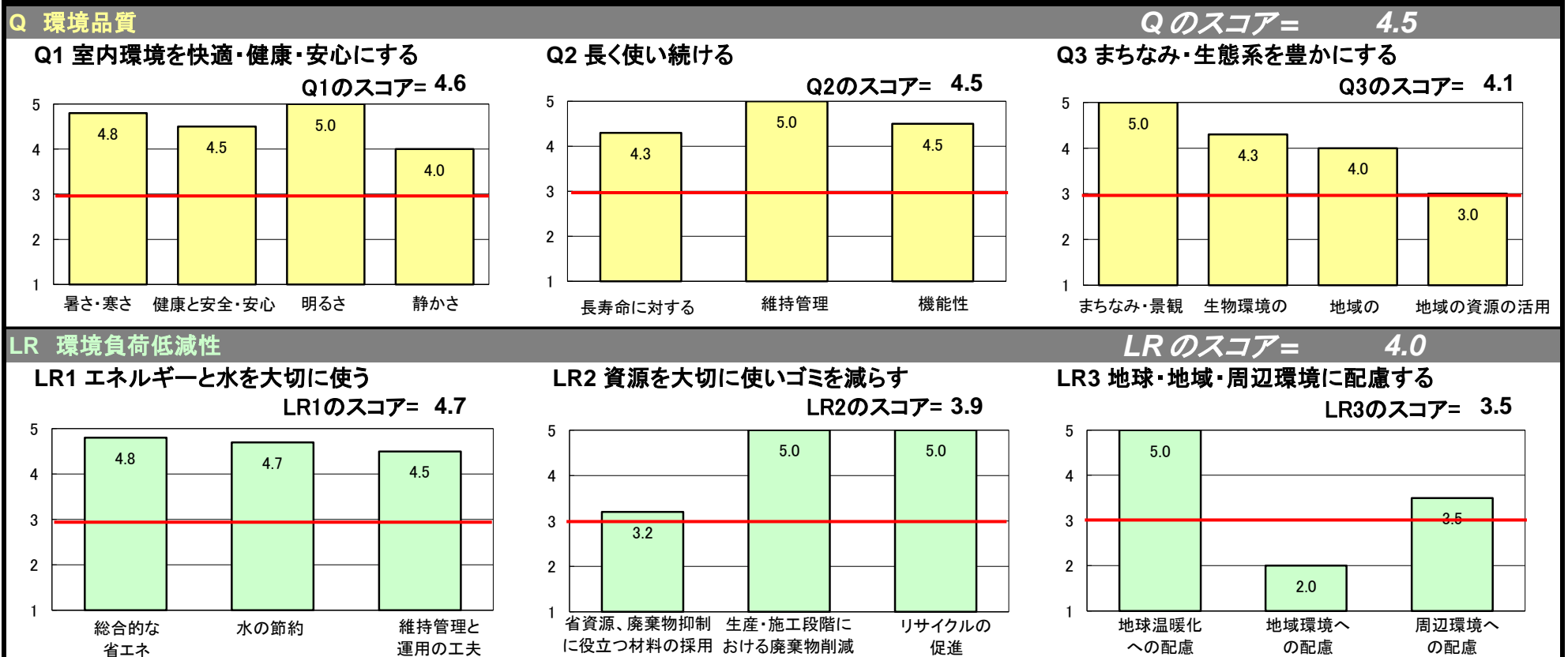
2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

<p>総合 兵庫県芦屋市の海岸沿いに開発中の分譲住宅団地「パナホームスマートシティ潮芦屋」に建築したスマートハウス。「街なみガイドライン」を定め周囲の環境と調和する街なみ形成にも配慮している。</p>	<p>その他</p>
<p>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする ・断熱等性能等級「4」超え。 ・年間を通じて安定した床下空気を各居室に給気するオリジナル省エネPM2.5対策の換気システムを採用。 ・立地を活かした開放的なプラン。</p>	<p>Q2 長く使い続ける ・軽量鉄骨軸組構法の工業化(プレハブ)住宅。 ・外壁は窯業サイディング材に陶磁器タイル張り。 ・耐震、劣化の軽減、維持管理については、最高等級。 ・4人家族(夫婦+子ども)で居住可能な分譲住宅。</p>
<p>LR1 エネルギーと水を大切に使う ・設計一次エネルギー消費量が90%以下。 ・省エネ機器の採用。(IHクッキングヒーター) ・節水型設備(トイレ、食器洗乾燥機)、雨水タンクの設置。 ・HEMS(見える化+AiSEG)の採用</p>	<p>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす ・軽量鉄骨軸組構法の工業化(プレハブ)住宅。 ・部材パネルを自社工場生産し、施工現場にて組立て。 ・自社工場は、品質・環境統合マネジメントシステム運用。(ISO14001取得)</p>
<p>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする ・「街なみガイドライン」を設定。一定の条件とルールのもと設計・施工されている。 ・外構、緑化にも配慮。(敷地面積に対する緑化率を規定) ・電線類地中化の街。</p>	<p>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する ・ライフサイクルCO₂は一般的な住宅に対して50%以下。 ・雨水タンクを設置。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (環境品質), L: Load (環境負荷), LR: Load Reduction (環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (環境効率)

■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEE-戸建(新築)の場合、BEE_H、Q_H、LR_Hなどとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した

■「ライフサイクルCO₂」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q_H2、LR_H1中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される(「戸建標準計算」の場合)

■ライフサイクルCO₂の算定条件等については、マニュアルおよび「CO₂計算」シートを参照されたい